

# 平成22年度 学校関係者評価表

宮崎県立富島高等学校(定時制)

平成 22 年度 宮崎県立富島高等学校（定時制）自己評価および学校関係者評価

評価基準	4：十分達成できている	3：ほぼ達成できている	2：あまり達成できていない	1：達成できていない
------	-------------	-------------	---------------	------------

分掌	評価項目	自己評価				学校関係者評価	
		具体的方策	成果○・改善策□・課題◆	前期	後期	評価	コメント
教務部	1. 授業への出席率や学習意欲を高める。	①単位修得についての説明を頻繁に行い、自己の修得単位や成績についての意識を高めさせる。 ②毎月1回定例の職員研修会を開催し、生徒の出席や生活状況の報告に対して、問題のある生徒の指導方法を検討する。	○不登校ゼロ、長期欠席者の激減 ○退学者の減少(18年度25名→19年度10名→20年度10名→21年度10名→22年度11名) ○授業出席率の向上(19年度87.2%→20年度89.3%→21年度89.5%→22年度92%) □単位修得説明を徹底し、履修の自己管理を図る。 □中学校訪問できめ細かな指導に役立てることができた。 ○三者面談週間を前期に設定した。	3	3	4	・地道な努力が成果となってきている。退学者の激減および出席率の向上等行きたくなる学校の環境作りがなされている。 ・このように学校生活全体が充実しているのがわかり大変よろこんでいます。
	2. 基礎的・基本的な学力の定着をはかる。	①簿記は、1年TT・2年習熟度別学習をする。 ②基礎力養成週間を月1回計画し、国数英社の基礎学習に取り組みさせる。	○定通併修生への指導を教務全体で入れた。 ◆1年生への単位修得についての継続指導が必要 ◆基礎力向上に向けた取り組みの見直し	4	4	4	・まず小中学校の基礎固めをして頂きたい。
	3. 保護者・地域への情報発信につとめる。	①保護者あてに学校行事の案内を出す。 ②ホームページの定時制コーナーを充実させる。(生徒指導部、進路指導部、図書コーナーを新設した) ③授業公開週間の充実を図る。	○年間3回のPTA役員会を開催できた。 ○初めてPTA新聞を発行した。 ○初めてPTA総会欠席者集会をを設け、学校へ来れなかった保護者とのコミュニケーションを図ることができた。 ○ホームページで携帯サイトを新設した。 ○情報誌「富風定時」を3号発行した。 ○PTA総会を茶話会形式にして参加者が倍増した。 ○学級通信などよりこまめな情報の発信 ○中学校や教育委員会に授業公開の案内を出して、初めて来校があった。(1校)	4	4	4	・PTA総会を茶話会形式にしたり、学校からの声掛け・仕掛けが成果をあげているとPTAの方々の協力や活動を委員の方の話から感じました。
	4. 教科代表者との連携をはかる。	①授業時数の確保につとめ、参観週間などを設定し、教材作成の工夫や指導法の改善をはかる。 ②検定合格や資格取得を支援する。	○教務部会を定期的に入れた。 ○検定意欲が高まり合格者数を維持できた。(19年度19名→20年度31名→21年度60名→22年度48名) ◆聴講制度についての具体案を作る。	3	4	4	・全員が何か1つ検定に挑戦するようになれば良いと思います。特に日商簿記検定試験への挑戦を期待します。

平成 22 年度 宮崎県立富島高等学校（定時制）自己評価および学校関係者評価

評価基準	4：十分達成できている	3：ほぼ達成できている	2：あまり達成できていない	1：達成できていない
------	-------------	-------------	---------------	------------

分 掌	評価項目	自己評価				学校関係者評価	
		具体的方策	成果○・改善策□・課題◆	前期	後期	評価	コメント
生 徒 指 導 部	1. 基本的な生活習慣の確立を図り、充実した学校生活を送る生徒を育成する。	①SHR前に校門での立ち番や校外巡回指導を行い、授業やHRなどへの参加を促す。	□継続指導として校門での立ち番指導や巡回指導(地域周辺の巡回やチリ拾い等を通して住民との連携を図る)を行う。 □その場の指導として服装、スリッパ履き登校(冬場は減少)の禁止など、根気強く繰り返し指導する。	3	4	4	・親が果たすべき責任を学校が担っていただき感謝しています。特にあいさつがすばらしい。
	2. ルールを遵守する態の確立を図り、分別ある行動ができる良識ある生徒を育成する。	①生徒指導部の確認事項を配布し、説明を行うことによって、ルールを認識させる。 ②生徒の情報を共有し、全職員で連携を図りながら問題行動などに対応する。	□職員入室時のマナー指導として、言葉遣い・服装・礼法を身に付けさせる常時指導の徹底。 □各行事・集会の度に礼法・マナー指導を根気強く継続して指導する。	3	3	3	・以前に比べてマナーが良くなっている。さらにマナークラブ活動等を作れば、楽しく確実に学べると思う。
	3. 生徒の豊かな心を育成するために、HR活動・生徒会活動・部活動などを通して自主的に活動する態度を身につけさせる。	①生徒総会、文化祭、冬季クラスマッチ、卒業生を送る会など生徒会役員が中心となって自主的な運営する。	□文化祭でクラスの協力体制ができた。 □生活体験発表大会など学校行事への自主的な活動と積極的な参加を促す。 □生徒会組織に専門委員会を発足し、生徒会活動の自主的かつ活性化を図る。	4	4	4	・文化祭などを見るとクラスがよくまとまっていたと思う。
	4. 他人に対する思いやりと優しさを持ち、お互いの人格を尊重しあえる生徒を育成する。	①毎学期学校独自のテーマを設定し、また人権啓発の講演会などにより生徒の意識高揚に務める。 ②交通安全教育や救急救命講座・健康教室などを通して、生命の重要性や大切さについて考えさせる。また、自己肯定感を養い、一人一人がかけがえのない存在であることに気づかせる。 ③クラスマッチや文化祭などを通して協調性を身につけさせ、他人に対する思いやりや優しさを身につけさせる。	○人権講座を開催(12月10日)併せて、いじめ調査も実施した。 ○交通教室を開催(5月21日)ワイヤーロックの推進を呼びかけた。 ○クラスマッチを年2回に増やしてクラスの取り組みを活性化することが出来た。	4	4	4	・生徒の自主性が求められる時代なので、生徒の思いを尊重しながら指導をお願いします。 ・いじめは大人が気付かないところでおこるので、調査は継続して実施して頂きたい。

平成 22 年度 宮崎県立富島高等学校（定時制）自己評価および学校関係者評価

評価基準	4：十分達成できている	3：ほぼ達成できている	2：あまり達成できていない	1：達成できていない
------	-------------	-------------	---------------	------------

分 掌	評価項目	自己評価				学校関係者評価	
		具体的方策	成果○・改善策□・課題◆	前 期	後 期	評 価	コ メ ン ト
進 路 指 導 部	1. 社会に適応できる生徒の育成を図る。	<p>①日常の授業及び生活の中で「忍耐」「誠実」「勤勉」な態度を身につけさせる。</p> <p>②職場での生徒の勤務状況を把握するとともに、雇用主に本校生徒の雇用拡大をお願いする。</p>	<p>○【進路学習②】(DVD 視聴) 他校における進路指導状況を見ることで、改めて自らの進路について考える機会になったようである。生徒達の心に上手く響いてくれた。</p> <p>○【進路学習④】(ようこそ先輩・講話) 本校定時制に在籍中の話や人生の教訓などをしていただき、生徒達も真剣に聞き入っていた。生徒にとって大先輩であり、身近な話題で感想文の中でも非常に生徒達にも好評だった。</p> <p>○【進路学習⑤】(進路体験発表会) 先輩達の本年度の進路活動を聞くことにより、在校生の進路意識・関心をより高めることができた。在校生にとってこれからの自分達の進路に役に立ったという感想があり、非常にためになった。</p>	3	3	4	・内容にも創意工夫をこらして、成果を上げていると思います。さらにコミュニケーション不足を補うために、クラブ活動等で意志疎通を図るコツを学べば仕事でも成長につながると思います。
	2. 教科と連携し、実務代替制度の推進を図る。	<p>①職業講座を開催し、働く意義や日常の心構えを学ばせる。</p> <p>②毎週求人情報を校内に掲示し、生徒の条件にあった職場情報を配布する。</p> <p>③全職員による職場訪問を実施し、定着指導と職場開拓を行う。</p>	<p>○【進路学習③】(卒業予定者：模擬面接、その他生徒：先生方による講話) 模擬面接については、主に礼法などを集中して行った。生徒達も良く理解し、習得することができた。 先生方による話は、時間が足りないぐらいで、生徒達にとってもかなり好評だった。</p>	3	3	3	・生徒の個性に合った指導をお願いします。
	3. 進学者の指導を図る。	<p>①進学については、生徒に必要な情報を収集し、個別指導を行う。</p>	<p>◆全学年、2・3者面談の実施や生徒自身の自己分析などを行うことで、早い段階で生徒達の進路意識を明確にする。</p>	4	4	4	
	4. 就職者の指導を図る。	<p>①就職については、職場訪問も含めて全職員で指導にあたる。</p>	<p>○【進路学習①】(履歴書の書き方) アルバイトや就職・進学用の履歴書の書き方について、生徒達が懸命に聞き入り、取り組んでいた。 生徒達の進路達成に向けて、面接指導をはじめ一般常識、小論文など日ごろから継続的・計画的に行っていき、卒業予定者全員が進路目標を達成できるよう取り組んでいく。</p>	4	4	4	・1年生の時から履歴書の書き方などを学ばせた方が良いと思います。

平成 22 年度 宮崎県立富島高等学校（定時制）自己評価および学校関係者評価

評価基準	4：十分達成できている	3：ほぼ達成できている	2：あまり達成できていない	1：達成できていない
------	-------------	-------------	---------------	------------

分 掌	評価項目	自己評価				学校関係者評価	
		具体的方策	成果○・改善策□・課題◆	前期	後期	評価	コメント
保 健 部	1 自分の発育・発達や健康状態に関心をもち、自主的に健康生活を実践する習慣や態度を培う。	①健康診断の受診徹底を図る。 ②健康生活習慣の確立を推進する。	○性教育講座、薬物乱用防止講座の実施。 ○「保健だより」の発行により“責任感・思いやり・羞恥心”の大切さを強調した ◆定期健康診断受診の徹底 ◆保健室利用時のマナーアップを図る ◆性教育についての個別指導の徹底 ◆当たり前があたりまえにできる生徒の育成を図る	3	3	3	・性教育については以前から大人にも戸惑いがありました。保護者と一緒に指導すると良いかもしれない。 ・最近、小学生にまで薬物が入り込んでくる時代なので、意識向上を図る指導が必要と考えます。

分 掌	評価項目	自己評価				学校関係者評価	
		具体的方策	成果○・改善策□・課題◆	前期	後期	評価	コメント
事 務 部	1 教育環境の充実を図る	①備品購入希望調査・営繕箇所調査を行い情報を収集する。 ②各種検定、進路実現に対応できるように、学習環境を充実させる。	○平成 21 年度授業料滞納者は 0。 ○授業料無償化になって混乱なく処理できた。 ○学習環境の整備を全職員で取り組めた（網戸の修理や環境美化活動など）	3	3	3	

平成 22 年度 宮崎県立富島高等学校（定時制）自己評価および学校関係者評価

評価基準		4：十分達成できている    3：ほぼ達成できている    2：あまり達成できていない    1：達成できていない					
分掌	評価項目	自己評価				学校関係者評価	
		具体的方策	成果○・改善策□・課題◆	前期	後期	評価	コメント
学 年	1年 基本的な 学校生活を 構築させる。 本人・保護者 とよく対話 をし、信頼関 係を築く。	①学校生活が確立していない生徒との2者面談を随時実施する。 ②保護者に対して毎月、欠課時数表や学級通信などを配布する。 ③3者面談を適宜実施し、保護者との連携を図る。 ④社会に適応できる生徒の育成を図る。	○生徒、保護者からの遅刻、欠席届が定着した。来年度も継続したい。 ○終礼が定着したことで怠学の防止と基本的生活習慣の確立に繋がった。来年度も継続したい。 ○週3回の清掃活動が定着（ロッカーや机の整理整頓）し美化活動の推進に繋がっている。来年度も定着指導を図りたい。 ○学級通信の発行が定着することができた。来年度も継続したい。 ◆単位制が正しく理解できていない生徒が多い。数回に分けて単位制の説明をするといのではと思う。 □3修生・通信制のシステムを知らない生徒に対しても、同じように説明すると良いと思う。	3	3	3	・課題改善策とも適切になされていると思います。 ・出来ればもっと単位制のしくみが分かるように説明して頂きたい。
	2年 クラスの一員としての帰属意識を高めさせる。	①家庭・クラス・職場の一員としての自分を見つめさせる。 ②授業への出席率向上を図る ③基本的生活習慣の確立を図る ④社会に適応できる生徒の育成を図る	◆遅刻、欠課等は減少傾向にあるが、欠課時数を考えて、休んでいる生徒もみられる。授業に出席するよう継続的に指導を行いたい。 ○無断での遅刻、欠席、早退はほとんどなくなっている。必ず連絡をするよう今後も声かけを行いたい。 ◆整理整頓については身につけていない生徒が多い。ロッカー整理を定期的に行うよう促したい。また、衛生面での基本的な習慣が身につけていない生徒もいるので、指導を行っていききたい。 ◆さまざまな活動を通して、協力して活動することができた。女子生徒の間でのトラブルがいくつかあるようではあるが、お互いに自分たちの力で解決できるよう支援を行っていききたい。 ○今年度も多くの生徒が資格取得に挑戦した。来年度も継続して資格取得等を促したい。特に、来年度卒業予定の3修制生については、就職に向けて多くの資格を取れるようにしたい。	3	3	3	・定時制は全日と違い、基本的な指導をされているなと感じていました。 ・特に人間関係は大事なので重点的に指導して頂きたい。
	3年 よりよい人間関係を形成させ、社会に適応できる人材を育てる。	①集団生活への積極的な参加を促し、向上心ある集団の形成者となるよう援助する。 ②資格取得や検定合格への挑戦を促し、将来の選択や決定に対する興味・関心を高める。 ③授業への出席率向上を図る ④基本的生活習慣の確立を図る ④社会に適応できる生徒の育成を図る	◆昨年度と比較して、遅刻、欠席、早退に関しては減少傾向が見られるが、まだ満足できるような状況に至っていない。学校では常時指導、家庭への連絡を根気強く行う必要がある。 ○夏季休暇を利用して三者面談を実施した。保護者の協力も積極的に早期に短期間で終了することができた。保護者も学校へ目が向き、日頃から生徒のことを注意している様子が見られた。 ◆来年度を踏まえ、進路意識の向上が今年度の課題でもあるが、資格取得への意識がまだ薄い状況である。積極的に資格取得を目指すべく生徒への意欲の喚起を促し、より高次の資格取得を目指す指導を図る必要がある。	2	3	4	・学期末などにレクレーションを取り入れるとクラスの和が広がると考えます。
	4年 生徒一人一人の進路実現を目指し、社会に貢献できる人材を育成する。	①コミュニケーション能力を高める。 ②授業への出席率向上を図る ③基本的生活習慣の確立を図る ④社会に適応できる生徒の育成を図る	○計画通り8月中に全員の3者面談を行うことができた。 ○例年に比べると4年生ということもあり、遅刻、欠席、早退がかなり改善できた。 ○自らの進路に真剣に向き合い、就職・進学試験等の指導等にも懸命に努力する姿があった。 ○検定試験へのチャレンジ、定期試験等への取り組みなど全体的に良かった。 ○ほとんどの生徒が、卒業後の進路を決めることができた。	3	4	4	・現在の改善されてきている状況を継続して頂きたい。